



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

1-1 建物概要	1-2 外観																				
<table border="1"> <tr><td>建物名称</td><td>(仮称)新大阪オフィスビルプロジェクト新築工事</td></tr> <tr><td>建設地</td><td>淀川区西宮原1丁目</td></tr> <tr><td>建築用途</td><td>事務所、物販店舗、自動車車庫</td></tr> <tr><td>建築主</td><td>大和ハウス工業(株)</td></tr> <tr><td>設計者</td><td>日本国土開発(株)</td></tr> <tr><td>敷地面積</td><td>1,625.32 m²</td></tr> <tr><td>建築面積</td><td>979.49 m²</td></tr> <tr><td>延床面積</td><td>10,449.28 m²</td></tr> <tr><td>構造/階数</td><td>S造 / 地上11階</td></tr> <tr><td>完了年(予定)</td><td>2022年2月</td></tr> </table>	建物名称	(仮称)新大阪オフィスビルプロジェクト新築工事	建設地	淀川区西宮原1丁目	建築用途	事務所、物販店舗、自動車車庫	建築主	大和ハウス工業(株)	設計者	日本国土開発(株)	敷地面積	1,625.32 m ²	建築面積	979.49 m ²	延床面積	10,449.28 m ²	構造/階数	S造 / 地上11階	完了年(予定)	2022年2月	
建物名称	(仮称)新大阪オフィスビルプロジェクト新築工事																				
建設地	淀川区西宮原1丁目																				
建築用途	事務所、物販店舗、自動車車庫																				
建築主	大和ハウス工業(株)																				
設計者	日本国土開発(株)																				
敷地面積	1,625.32 m ²																				
建築面積	979.49 m ²																				
延床面積	10,449.28 m ²																				
構造/階数	S造 / 地上11階																				
完了年(予定)	2022年2月																				

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
A BEE=1.5 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★	標準計算 30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★ このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです	ラベル表示 有

2-4 中項目の評価(バーチャート)
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.9 Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.5 Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.7 LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.8 LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.5 LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		その他
総合 利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。ライフサイクルCO2の低減に努め、地球環境保護に配慮している。		特になし。
Q1 室内環境 開口部遮音性能:T-2以上。壁、床、天井のうち二面に吸音材を使用している。JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	Q2 サービス性能 事務室の天井高2.8m。階高4.2m以上。	Q3 室外環境（敷地内） 特になし。
LR1 エネルギー [BPI] _m = 0.80。 [BEI] _m = 0.67。	LR2 資源・マテリアル 節水コマなどに加えて、省水型機器（節水型便器など）などを用いている。LGSとOAフロアを使用している。ODP=0かつGWPが低い発泡剤（GWP（100年値）が1以下）を用いた断熱材等を使用している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO2排出率が、一般的な建物（参照値）に対して76%。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.5

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO2削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮 3.9
配慮事項	

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出 2.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上 3.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善 2.0
配慮事項	

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	5.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制 5.0
配慮事項	

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化 4.3
配慮事項	

省エネルギー基準計算結果

基準 適合状況	適合
------------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
 （基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能	住宅部分（品確法等級） 対象外 (相当)	非住宅部分[BPI][BPI _m] 0.80
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI _m] 0.67	住宅部分[BEI] - 非住宅部分[BEI][BEI _m] 0.67

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽光発電設備用）

1 設備導入の検討

① 周辺環境の把握

② 日照条件の検討

ア 検討対象とする場所	☒ 屋根部 地上高さ（ 49 ） m ☐ 地上部 （ ☐ 空地部分 ☐ その他 ） ☐ 壁面 ☐ その他 （ ）
イ アの周囲における日射遮蔽物	☒ なし ☐ あり 方位（ ）高さ（約 ） m 水平距離（約 ） m 方位（ ）高さ（約 ） m 水平距離（約 ） m 方位（ ）高さ（約 ） m 水平距離（約 ） m 方位（ ）高さ（約 ） m 水平距離（約 ） m 方位（ ）高さ（約 ） m 水平距離（約 ） m
ウ 日照の確保（冬至）	☒ 十分 ☐ 不十分

③ 日照条件に適合する場所の検討

ア 設置可能面積等	（ 100.0 ） m ² 方位（ 南 ） 設置角度（ 30 ） 度
イ 設置可能太陽光パネル面積	（ 40.0 ） m ²
ウ 設置可能容量	（ 6.0 ） kW
エ 利用設備に対する荷重対策	☐ あり ☒ なし
オ 設置に備えた対応	☒ なし ☐ あり （例：設備用基礎の設置） （ ）

④ 導入判断

検討結果 ☐ 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入

☒ 導入しない

導入を見送る理由（複数選択可）

- ☐ 日照が確保できない
☐ 躯体が荷重に対応できていない
☐ 敷地内に設置する場所を確保できない
☒ 費用負担が大きい
☐ 本計画では見送るが、将来対応可能とする
☐ その他（ ）

2 導入する設備の概要

ア 太陽光パネル面積	（ ） m ²
イ 発電容量	（ ） kW

備考

注 2ア 太陽光パネル面積が、1③イ 設置可能太陽光パネル面積と大きく異なる場合、備考欄にその理由を記入してください。

1 設備導入の検討

② 日照条件の検討

ア 検討対象とする場所	☒ 屋根部 地上高さ（ 49 ） m ☐ 地上部 （ ☐ 空地部分 ☐ その他 ） ☐ 壁面 ☐ その他 （ ）															
イ アの周囲における日射遮蔽物	☒ なし ☐ あり <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ） m</td> <td>水平距離（約 ） m</td> </tr> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ） m</td> <td>水平距離（約 ） m</td> </tr> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ） m</td> <td>水平距離（約 ） m</td> </tr> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ） m</td> <td>水平距離（約 ） m</td> </tr> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ） m</td> <td>水平距離（約 ） m</td> </tr> </table>	方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m
方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m														
方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m														
方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m														
方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m														
方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m														
ウ 日照の確保（冬至）	☒ 十分 ☐ 不十分															

ア 建築物の用途	事務所、物販店舗、自動車車庫
イ 熱需要対象用途	☐ 冷房 ☐ 暖房 ☒ 給湯 ☐ その他（ ）
ウ 設置可能面積	(50.0) m ²
エ 概算年間熱利用量	(108,850) MJ/年
オ 利用設備に対する荷重対策	☐ あり ☒ なし
カ 設置に備えた対応	☒ なし ☐ あり (例：設備用基礎の設置) ()

検討結果 ☐ 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入

■ 導入しない

導入を見送る理由（複数選択可）

☐ 日照が確保できない

☐ 年間を通じて安定した熱需要がない

☐ 躯体が荷重に対応できていない

☐ 敷地内に設置する場所を確保できない

☒ 費用負担が大きい

☐ 本計画では見送るが、将来対応可能とする

☐ その他（ ）

ア 集熱パネル面積	() m ²
イ 概算年間熱利用量	() MJ/年
ウ 熱需要対象用途	☐ 冷房 ☐ 暖房 ☐ 給湯 ☐ その他 ()

備考